■トピックス　令和6年度道内観光産業による経済効果について【確定版】

北海道観光機構では、道内の観光地を訪れる観光客の満足度や道内観光産業の経済効果を把握するため、北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査を実施しています。今回、令和6年度の調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

＜令和6年度・調査推計結果＞

1．観光入込客数について

■ 道内客…前年度（2023年度-令和5年度）に比べて日帰り客が大幅に増加したが、宿泊客が４％程度減少した。
　日帰り客　3,364万人（前年度比4.6%増）・宿泊客　790万人（同4.0%減）
　なお、「その他＝道民の道外・海外への旅行」はコロナ禍前・2019年度と同水準の214万人とした。

■ 道外客…前年度に比べ、日帰り客は増減なし、主力の宿泊客は4.5%増だった。
　日帰り客　11万人（同増減なし）・宿泊客　516万人（同4.5%増）

■ 外国人客…前年度から約21%も増加した。
　283万人（同20.9%増）

■　観光入込客数の設定

（人）		2019年度 実績値 ※その他は推計値	前々回調査 令和4年度（実績値）	前回調査 令和5年度（実績値）	今回調査 令和6年度（実績値）	前年度比増減	備　考
道内客	日帰り客	35, 070, 000	29, 130, 000	32, 150, 000	33, 640, 000	1, 490, 000	1)観光客数は「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道経済部観光局）を用いている。 2)道内の「その他」は道外や海外への旅行に関わるものであるが、本事業では調査対象となっていない。このため、今回調査ではコロナ禍前の2019年調査で設定した推計値と同程度と設定した。
	宿泊客	9, 340, 000	8, 430, 000	8, 230, 000	7, 900, 000	-330, 000	
	その他	2, 144, 000	900, 000	2, 144, 000	2, 144, 000	0	
	全体	46, 554, 000	38, 460, 000	42, 524, 000	43, 684, 000	1, 160, 000	
道外客	日帰り客	190, 000	120, 000	110, 000	110, 000	0	
	宿泊客	5, 730, 000	3, 920, 000	4, 940, 000	5, 160, 000	220, 000	
	全体	5, 920, 000	4, 040, 000	5, 050, 000	5, 270, 000	220, 000	
外国人		2, 440, 000	690, 000	2, 340, 000	2, 830, 000	490, 000	

2. 道内観光消費額単価の推移

■ パッケージ料金に含まれる道内消費分を考慮した道内客・道外客の道内消費額は下図・表のようになる。

■ 道内客のうち、日帰り客の観光消費単価は6,361円で、昨年（6,497円）より僅かに減少している。宿泊客は34,331円で、昨年（32,398円）より2,000円ほど増加した。

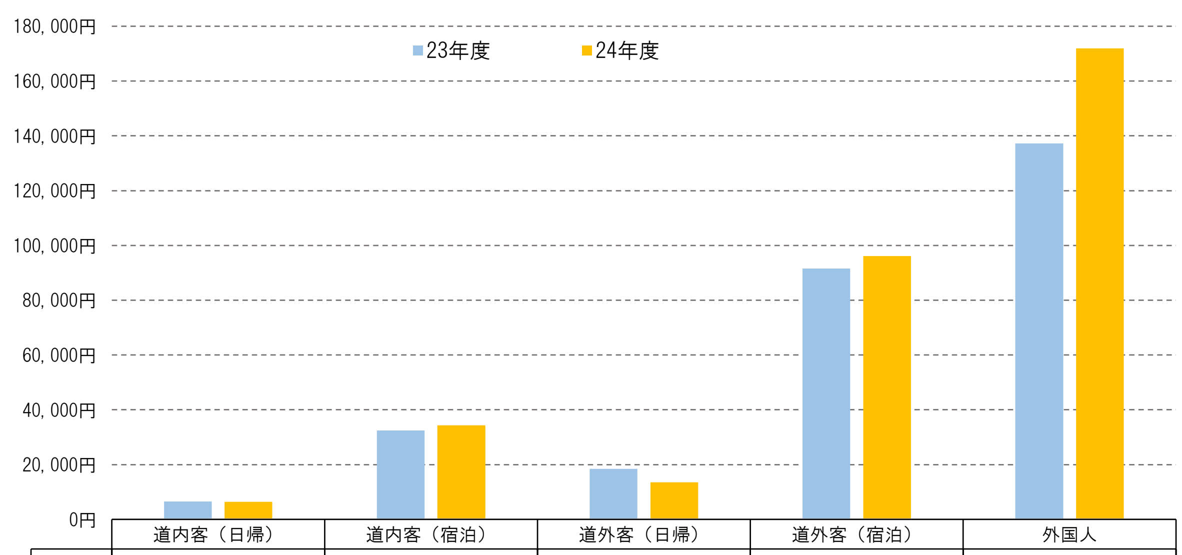
■ 道外客は日帰り客が13,500円で、昨年（18,385円）より5千円近くの大幅減。宿泊客は96,114円で、昨年（91,518円）から5千円以上の増となった。

■ 観光消費の内訳では、道内客の日帰り客では特に「買い物」での減少が目立った。一方、宿泊客では「買い物」が10%、「交通費」も7%増加した。

■ 道外の宿泊客では「買い物」が15%程度、「飲食費」が9%、「宿泊費」も7%近く増えたが、「交通費」は9%も減っている。

■ 外国人客は「買い物」で4%減少したほかはどの分野でも増加し、特に「宿泊費」は50%、「飲食」でも2割近くの急増となった。

■　投入単価／パッケージ料金に含まれる道内消費分等を含む消費額



	道内客（日帰）	道内客（宿泊）	道外客（日帰）	道外客（宿泊）	外国人
23年度	6, 497	32, 398	18, 385	91, 518	137, 180
24年度	6, 361	34, 331	13, 500	96, 114	171, 954

■　投入消費単価の推移額

		道内客		道外客		外国客
		日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
24年度	合計	6,361	34,331	13,500	96,114	171,954
	①交通費	2,282	8,689	4,500	23,020	30,290
	②宿泊費	0	13,259	0	30,278	66,604
	③飲食費	1,978	6,756	6,833	21,529	38,271
	④買い物	1,719	4,348	1,667	14,890	27,924
	⑤娯楽等サービス	368	1,269	500	5,577	8,140
	⑥その他	15	10	0	820	726
23年度	合計	6,497	32,398	18,385	91,518	137,180
	①交通費	2,312	8,126	8,269	25,339	26,028
	②宿泊費	0	12,620	0	28,412	44,371
	③飲食費	1,722	6,421	4,000	19,695	32,665
	④買い物	2,059	3,947	4,846	12,986	29,084
	⑤娯楽等サービス	389	1,222	1,269	4,302	4,679
	⑥その他	15	62	0	784	354
増減率	合計	▲2. 1%	6. 0%	▲26. 6%	5. 0%	25. 3%
	①交通費	▲1. 3%	6. 9%	▲45. 6%	▲9. 2%	16. 4%
	②宿泊費	−	5. 1%	−	6. 6%	50. 1%
	③飲食費	14. 8%	5. 2%	70. 8%	9. 3%	17. 2%
	④買い物	▲16. 5%	10. 1%	▲65. 6%	14. 7%	▲4. 0%
	⑤娯楽等サービス	▲5. 3%	3. 8%	▲60. 6%	29. 7%	74. 0%
	⑥その他	2. 0%	▲83. 1%	0. 0%	4. 5%	105. 1%

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

＜調査の概要（令和6年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査）＞

■目的：①国内観光客（道内客・道外客）、外国人観光客の観光・旅行の概要や北海道観光への期待度、満足度を把握し、今後の観光振興策の指針を得る。 ②旅行予算を把握し、北海道観光がもたらす地域経済への波及効果を推計する

■方法：全調査地点に調査員を配置し、アンケート回答の依頼と回収を行った。回答は主に「自記入法」（その場で回答者自ら記入し、その場で調査員が回収する）としたが、回答者の希望により「面接聴取法」も併用する。

■調査地域：全道80市町村で、103か所の調査地点を設定。このうち、「交通結節点」は11か所（空港、港）

■サンプル数：有効回答数4,680件を取得（内訳：道内客1,104、道外客1,383、外国人2,193）。

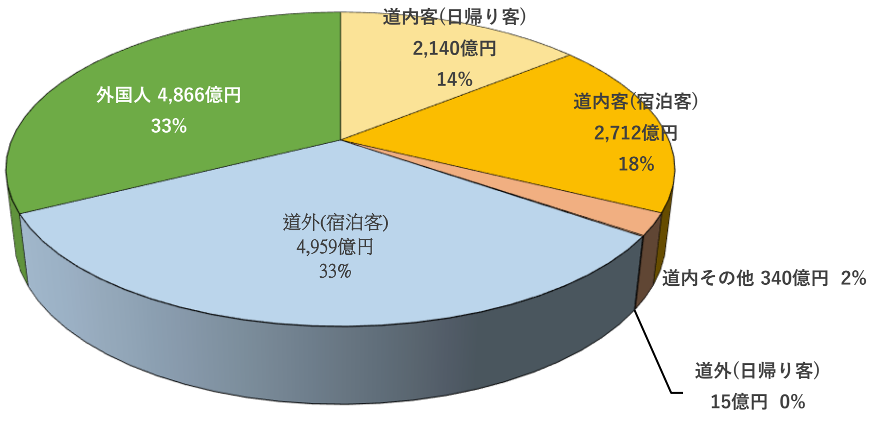
■項目：プロフィール（居住地、年代、職業、年収等）、旅行形態（日程、人数等）、旅行内容（消費額、観光ルート等）、期待度・満足度等。

■時期：令和6年7月7日〜令和7年2月10日

3．観光総消費額推計

- ■ 観光消費単価と観光入込客数（実人数）を乗じて、下表のように総観光消費額を推計した。
- ■ 総観光消費額は1兆5,033億円程度となり、昨年（1兆2,846億円）から約2,200億円、17%程度の増加となった。
- ■ 観光消費額の構成は道内観光客（日帰り・宿泊客）が全体の34%（計4,852億円）を占める。
- ■ 道外客需要は観光消費額の33%（4,974億円）を占めている。
- ■ 外国人需要は入込数増・消費単価がともに増加し、観光消費額の32%（4,866億円）を占め、消費額の上では道外客に迫る規模にまで拡大した。

■　道内での総観光消費額　観光客種別構成



■　道内での総観光消費額

			道内客				道外客			外国人	合計
			日帰り客	宿泊客	その他	合計	日帰り客	宿泊客	合計		
a	年間観光客数	R６年度	3,364万人	790万人	214万人	4,368万人	11万人	516万人	527万人	283万人	5,178万人
		R５年度	3,215万人	823万人	214万人	4,252万人	11万人	494万人	505万人	234万人	4,991万人
		増減	149万人	▲ 33万人	0万人	116万人	0万人	22万人	22万人	49万人	187万人
b	道内観光消費額単価(推計用調整値)　(1人)	R６年度	6,361円	34,331円	15,853円	-	13,500円	96,114円	-	171,954円	-
		R５年度	6,497円	32,398円	15,853円	-	18,385円	91,518円	-	137,180円	-
		増減	▲ 136円	1,933円	0円	-	▲ 4,885円	4,596円	-	34,774円	-
c	道内観光総消費額(a×b)	R６年度	2,140億円	2,712億円	340億円	5,192億円	15億円	4,959億円	4,974億円	4,866億円	15,033億円
		R５年度	2,089億円	2,666億円	340億円	5,095億円	20億円	4,521億円	4,541億円	3,210億円	12,846億円
		増減	51億円	46億円	▲ 0億円	97億円	▲ 5億円	438億円	433億円	1,656億円	2,187億円
構成比（%）		R６年度	14.2%	18.0%	2.3%	34.5%	0.1%	33.0%	33.1%	32.4%	100.0%
		R５年度	16.3%	18.0%	2.3%	34.5%	0.1%	33.0%	33.1%	32.4%	100.0%

※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある

- ■ 分野別の観光消費額は右表のように宿泊費（4,511億円）が最大で、交通費（3,613億円）、飲食費（3,432億円）、買い物費（2,612億円）が次ぐ。
- ■ 各種の観光施設利用やアクティビティ等に要する娯楽等サービス（795億円）は1千億円未満に留まっており、その拡大が今後の課題となる。

■　分野別観光消費額

		観光入込客数	支出内訳						合計
			①交通費	②宿泊費	③飲食費	④買い物費	⑥娯楽等サービス	⑤その他費用	
道内客	日帰り客	3, 364万人	768億円	0億円	665億円	578億円	124億円	5億円	2,140億円
	宿泊客	790万人	686億円	1,047億円	534億円	343億円	100億円	1億円	2,712億円
	その他	214万人	109億円	17億円	31億円	130億円	52億円	0億円	340億円
	合計	4, 368万人	1,563億円	1,064億円	1,230億円	1,052億円	277億円	6億円	5,192億円
道外客	日帰り客	11万人	5億円	0億円	8億円	2億円	1億円	0億円	15億円
	宿泊客	516万人	1,188億円	1,562億円	1,111億円	768億円	288億円	42億円	4,959億円
	合計	527万人	1,193億円	1,562億円	1,118億円	770億円	288億円	42億円	4,974億円
外国人		283万人	857億円	1,885億円	1,083億円	790億円	230億円	21億円	4,866億円
合計		5, 178万人	3,613億円	4,511億円	3,432億円	2,612億円	795億円	69億円	15,033億円

※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある

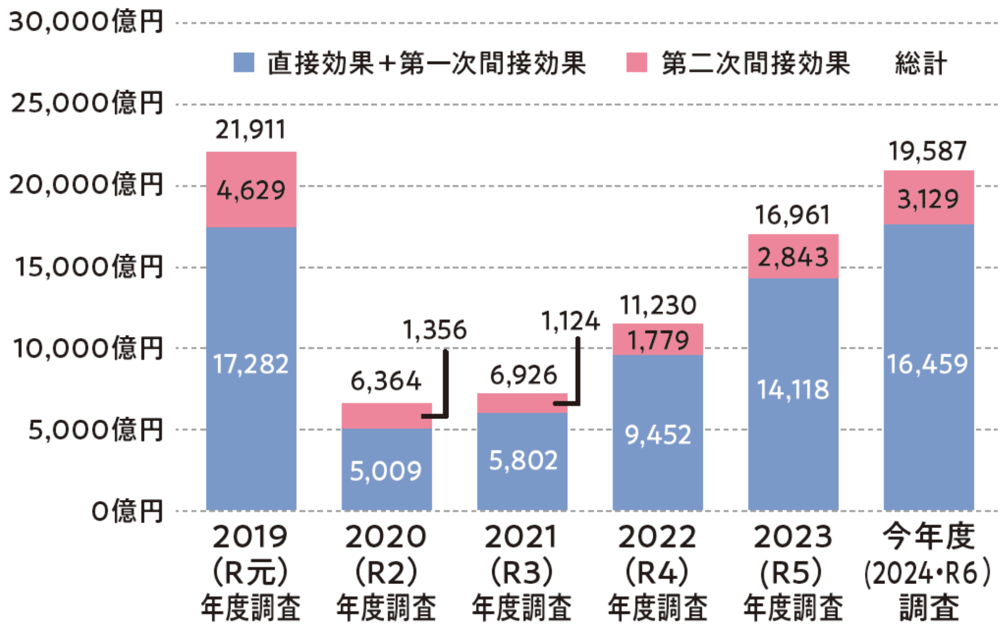
4. 観光による経済波及効果

- ■ 観光総消費額1兆5,033億円がもたらす経済波及効果は右表のように要約される。
- ■ 経済波及効果（生産誘発額）は1兆9,588億円と推計され、昨年（1兆6,961億円）を大きく上回った。（観光消費総額に対する乗数効果は1.30）
- ■ 観光消費により生じる生産活動において発生する「直接効果」は1兆960億円、さらに道内の生産やサービス活動に波及する「第一次波及（間接）効果」は5,499億円となる。
- ■ さらに、新たな雇用者所得等の増加によって生み出される「第二次波及(間接）効果」が3,129億円と推計された。
- ■ 経済波及効果（生産誘発額）の推移は下図の通りである。

■　観光による経済波及効果（要約）

経済波及効果	1,958,745百万円発生				
観光ＧＤＰ	544,997百万円押し上げ				
雇用者	170,145人／年の新規雇用者を誘発				
税収	38,008百万円の税収効果				
	生産誘発額（百万円）	粗付加価値（百万円）	所得誘発額（百万円）	雇用誘発数（人）	税収効果（百万円）
直接効果	1,095,979	544,997	295,937	112,265	21,917
１次波及効果	549,913	305,515	130,041	36,325	10,066
２次波及効果	312,853	201,436	78,369	21,555	6,025
合計	1,958,745	1,051,948	504,347	170,145	38,008

■　観光による経済波及効果（生産誘発額）の推移



※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

※報告書詳細については当機構観光統計データサイトを参照願います
https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/